〔1月10日締切課題〕 作品に「**学年**」と自分の「**氏名**」を本人が書く。
（幼・小１の方は、学年を書かなくてもよい。）

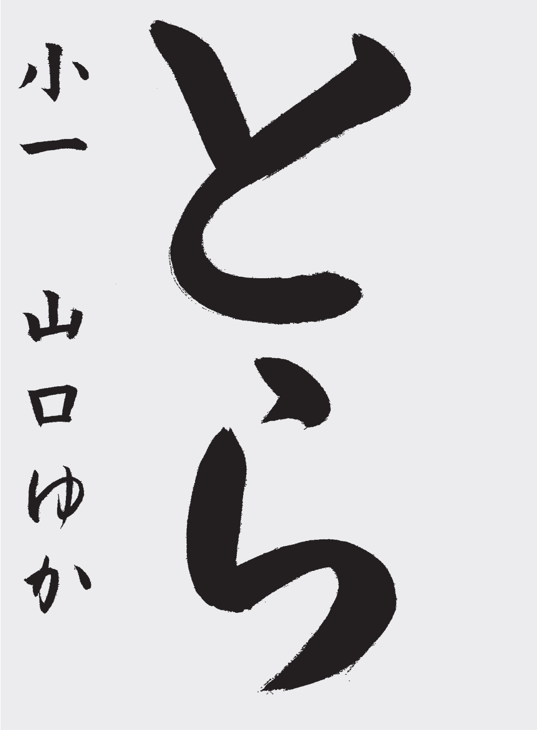
小学２年参考手本

三浦鄭街先生

柳橋香仙先生

幼・小学１年参考手本

大町青蓮先生



広瀬舟雲先生

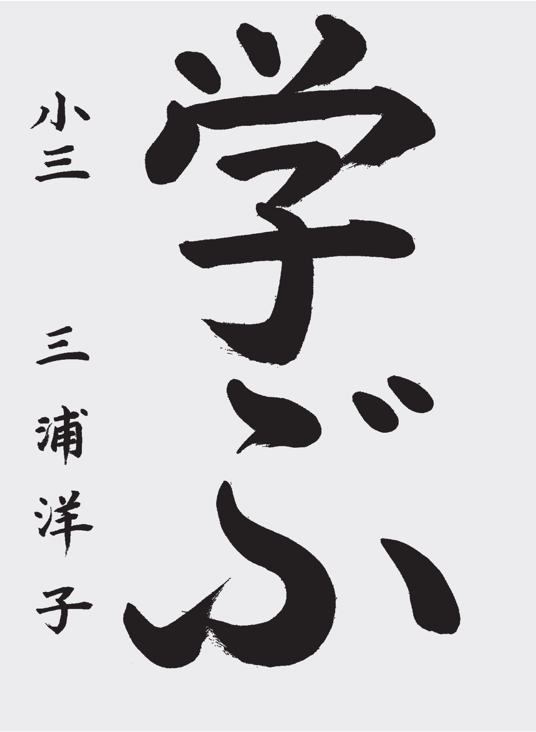
〔１月10日締切課題〕 作品に「**学年**」と自分の「**氏名**」を本人が書く。

小 学 4 年 参 考 手 本

工 藤 永 翠 先 生

小 浜 大 明 先 生

小 学 3 年 参 考 手 本



坂 本 素 雪 先 生

山 﨑 掃 雪 先 生

〔１月10日締切課題〕作品に「**学年**」と自分の「**氏名**」を本人が書く。

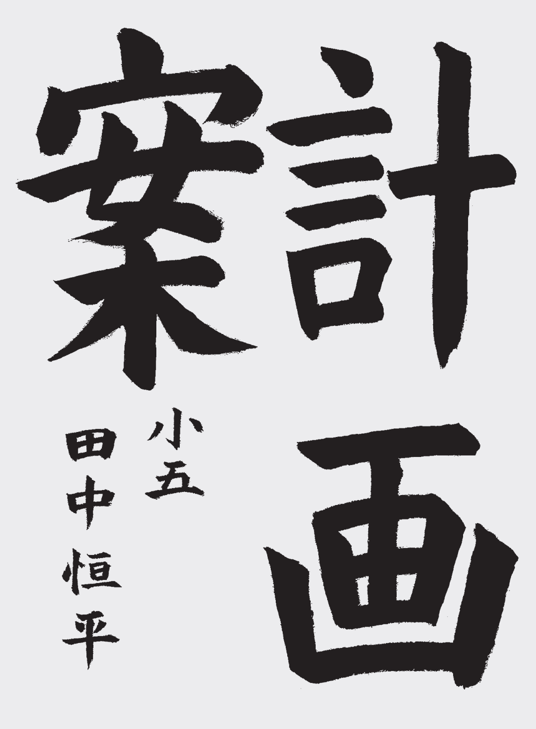
小学６年参考手本

川島舟錦先生

種谷萬城先生

小学５年参考手本

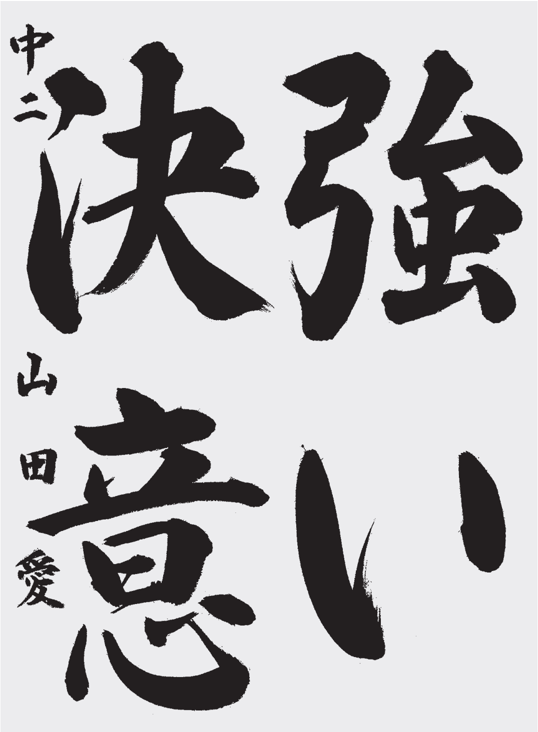
山口仙草先生



前田龍雲先生

〔1月10日締切課題〕 作品に「**学年**」と自分の「**氏名**」を本人が書く。

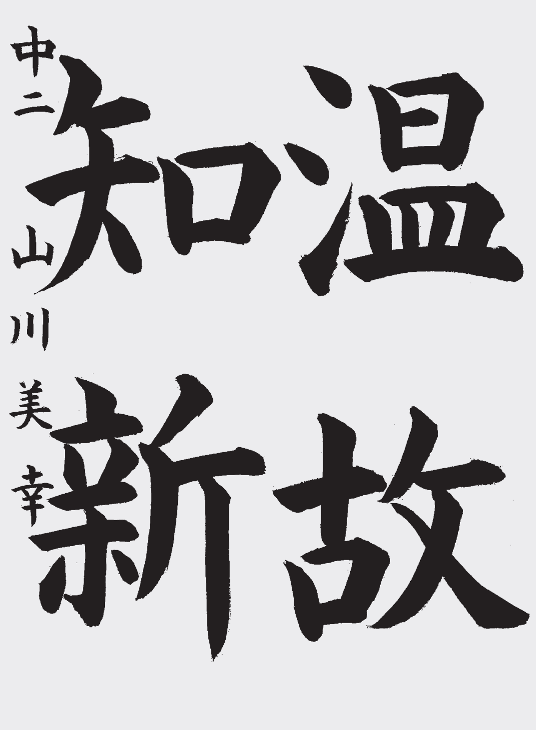
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



半田藤扇先生

辻元大雲先生

下谷洋子先生



小竹石雲先生

毛筆参考手本解説(1)

1年

中心(ちゅうしん)
わ
あける

〈ひつじゅん〉
ｌ わ

〈じげん〉
和 和 秋 わ

中心(ちゅうしん)
とら
つながるきもちで

〈ひつじゅん〉
丶 ｌ と
丶 ら

〈じげん〉
止 止 む と

2年

中心(ちゅうしん)
てま
とめ
つながるきもちで

〈じげん〉
天 天 て て
末 末 ま ま
利 利 わ り

中心(ちゅうしん)
カル
タ

〈じげん〉
加 カ
流 流 ル
多 タ

〈ひつじゅん〉
ノ ク タ

3年

中心(ちゅうしん)
学ぶ
すこしそる
とめ
つながる気もちで

〈ひつじゅん〉
丶 丷 ⺍ 学 学

〈じげん〉
不 不 ふ ふ

〈ひつじゅん〉
丶 ふ ふ ふ ふ

中心(ちゅうしん)
元日
あさくせっする
とうかんかく
でる

〈ひつじゅん〉
一 二 テ 元
ｌ 冂 日 日

4年

中心
お年玉
つながる気持ちで
浅く接する
すこしそる

〈じげん〉
於 於 お お

〈筆順〉
ノ ト 仁 仁 乍 年
一 丁 干 王 玉

中心
新年
浅く接する
五画目の横画は左に長くだす

亲

〈筆順〉
亠 立 立 亲 新 新

〈許容〉
方向
長短
止め
はね

5年

賀正
扁平
等間かく
ややそらす

〈筆順〉
フ カ 加 加 賀 賀
一 丁 下 正 正

計画案
等間隔
最大幅に

〈筆順〉
言 言 言 言 計
一 百 而 画 画
丶 宀 安 安 案

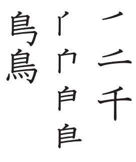
〈許容〉
方向
言
止め
画
はなす

方向
出ない
止め
はね
止め
はね

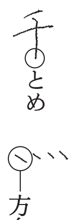
毛筆参考手本解説(2)

6年

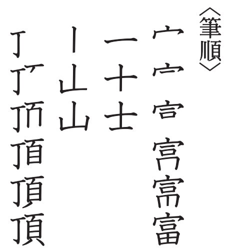
〈筆順〉



〈許容〉

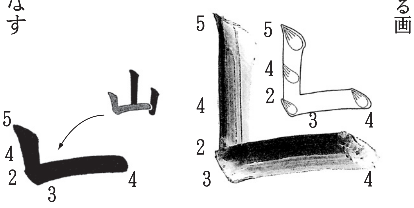


〈筆順〉



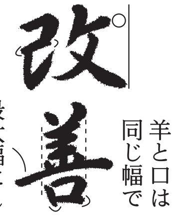
〈許容〉

折れ 画と画が複合する画で、途中止めて方向を変える画

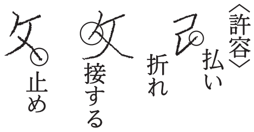


右図の数字は筆圧の強さ 5が最大

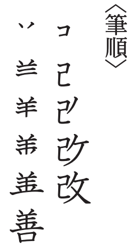
中学



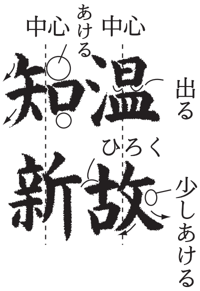
〈許容〉



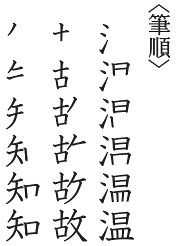
〈筆順〉



※筆順注意

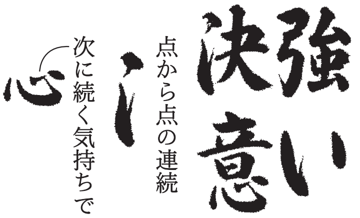


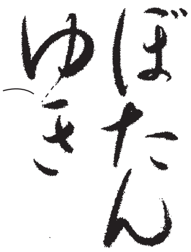
〈筆順〉



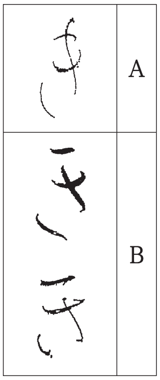
温故知新（出展…論語）
故きを温ねて新しきを知る
昔の事を調べて、そこから新しい知識や見解を得ること

やさしい行書





ぼたんゆき（牡丹雪）
雪の結晶が多数付着し合い大きな雪片となって降る雪。牡丹の花びらのように降るからとも、ぼたぼたした雪の意からともいう。



ふだん私たちはAの形で書いていますが、平安時代の仮名ではBのように書くこともあります。

ひらがなの字源 (362)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

	ほ	た	ん	ゆ	き
源字	保	太	无	由	幾

※源字については、異字体から変遷したものに＊印を付して( )にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔１月10日締切課題〕 作品に「**学年**」と自分の「**氏名**」を本人が書く。

硬筆参考手本

解説　辻元大雲先生

幼・小学１年

お正月のあさ
はしずかです。

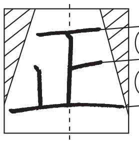
支部名	
だん・きゅう	
がくねん	一
なまえ	ほったかれん

小学２年

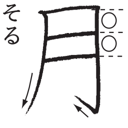
夜が明けるころ、
ぼくは海についた。

支部名	
段・級	
学年	二
名前	小池光一

『お正月』
「正」のひつじゅんを正しく書きましょう。



さいごのかくをながくかく。
〈ひつじゅん〉
一 丅 下 𤴓 正

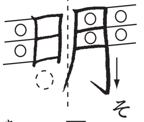


たてながにかく

「とめ」「はらい」にちゅうい

『海』
かん字の「とめ」「はね」「はらい」を正しく書きましょう。

とめ



そり気味に
「日」は小さめにする

小さくはねる
「おれ」の方向にちゅうい
〈ひつじゅん〉
、 ⺀ 氵 汇 海 海 海

〔1月10日締切課題〕 作品に**「学年」**と自分の**「氏名」**を本人が書く。

小学3年

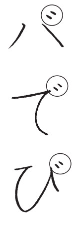
重いカバンを、み
んなで運びました。

支部名	
段・級	
学年	三
名前	西小百合

『カバン』
とくに、横の分間（画と画の間）に気をつけて字形をととのえましょう。

横画は等間隔に

軍と辶（しんにょう）の組み立て
「辶」の角度に注意



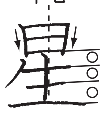
濁点を打つ位置に注意

小学4年

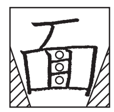
プラネタリウムのス
クリーンには、星が一
面に光っていました。

支部名	
段・級	
学年	四
名前	野村一平

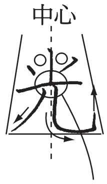
『プラネタリウム』
カタカナもしっかり書きましょう。



中心と横分間を整えて書きましょう。
「日」と「生」の組み立て



分間（画と画の間）を整えて書きましょう。
〈筆順〉
一 ア 丙 而 面 面



接する位置に注意

〔１月10日締切課題〕 作品に「**学年**」と自分の「**氏名**」を本人が書く。

小学６年

空港のコントロールタワーから四二二便の飛行許可が出た。

支部名	
段・級	
学年	六
名前	大間伸之

『飛行許可』
ていねいな運筆で字形を正しく書きましょう。

己は小さく

縦画は左払いの中央で浅く接する

中心（ちゅうしん）

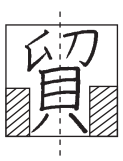
四画目が中心になる、左右のつりあいよく
〈筆順に注意〉

小学５年

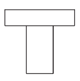
アメリカとの貿易で日本は多くの農産物を輸入しています。

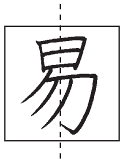
支部名	
段・級	
学年	五
名前	村上千秋

『貿易』
画数の多い漢字を正しく書きましょう。

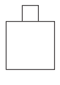


「𠂎刀」と「貝」の組み立て
外形

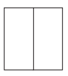




「日」と「勿」の組み立て



はらいの角度に注意



〔１月10日締切課題〕 作品に「**学年**」と自分の「**氏名**」を本人が書く。

中学生（行書）

「スノーモンスター」とも呼ばれる蔵王の樹氷。その幻想的な景色が冬の連峰に広がります。

支部名	
段・級	
学年	中三
名前	小坂希和

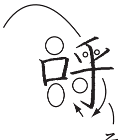
※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

中学生（楷書）

「スノーモンスター」とも呼ばれる蔵王の樹氷。その幻想的な景色が冬の連峰に広がります。

支部名	
段・級	
学年	中三
名前	小坂希和

『スノーモンスター』
かなは漢字より小さく書きましょう。



そりは右にふくらませてはねる

やさしい行書

地名を楷書と行書で書きわけてみましょう。

蔵王（楷書）
。直線的

蔵王（行書）
。曲線的

これからの作品締切日と課題

R4年3月号までの作品締切日と毛筆課題

月	締切日	幼・小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学生（全学年共通）
2月	2月7日	ほ	ソリ	豆まき	立春	寒風	建築	樹氷　東大寺二月堂
		おに	あられ	外国	雪原	活性化	月面着陸	窓の景色　いでゆの宿
3月	3月7日	れ	山	生きる	活気	再利用	将来	春風　字源辞典
		なわ	マリモ	うぐいす	竹馬	伝統	卒業写真	持続可能　春の海ひねもすのたりのたりかな

2月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

たねをまいて水をやりました。

小2

ここは本を読むための場所です。

小3

交番でおまわりさんに道を教わった。

小4

かえるは、冬の間は土の中にいて、春になると地上に出てきます。

小5

方言はその土地の風土や生活に深く結びついたことばです。

小6

先生が放課後に故郷の宝物を見せてくださいました。

中学生

創造は過去と現在とを材料としながら、新しい未来を発明する能力です。―晶子の言葉―

書写を知り 学び楽しむ

広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第58回　年賀状の賀詞について

①あけましておめでとうございます。
②賀正(がしょう)　③謹賀新年(きんがしんねん)
④迎春(げいしゅん)　⑤新春
⑥頌春（よめますか？）

問1、年賀状によく用いられるお祝いのことば（賀詞(がし)）を記しました。これらをさらに、わかりやすい現代の言葉でいえますか。

①は、「【無事に】新年を迎え、お祝い申し上げます。」と訳せましょう。ただ「年が明けて」だけではなく、ここに「旧年中、ご不幸なできごとがなく」の意味が含まれていることがポイントです。よくお正月にテレビ等で「新年、明(あ)けましておめでとうございます」という挨拶を耳にしますが、実はこれは、あまりよい言い方とはいえません。なぜならこの挨拶の言葉の意味をよく吟味してみると「新年、新年を迎え…」となり、同じ意味の言葉が重複しているからです。②「賀正」は、よく用いられる語ですが、意味を尋ねると意外にわからない人が多い熟語です。この「賀」には「祝う」という意味があります。そして「正」は正月の略。つまり「お正月を祝う」という意味なのです。③「謹賀新年」は、②をもっと丁寧にした漢語で「謹んで新年をお慶(よろこ)び（お祝い）申し上げます。」となります。ところで、④もよく見かけますが、今日のお正月（一月）の季節は冬なのになぜ「春を迎える」となるのか疑問を持たれた人はいませんか。現在の太陽暦(れき)では、春は「三月から五月まで」ですので、一月は確かに冬です。ところが、むかし使われていた太陰暦(たいいんれき)では、春は「正月から三月まで」でした。そこから「春」という漢字には、なんと「正月・年のはじめ」という意味もあるのでした。つまり④は、「正月を迎える」と訳せるのです。⑤は同様に「新しい正月」「はつはる」つまり、「新年」の意となるのです。⑥の「頌」は、誤って「こう」と読む人が多い漢字です。正しくは「しょう」と読み、「たたえる」という意味です。よって、頌春は「新年を賞賛し（ほめたたえ）祝う」という意味になります。

問2、これらの賀詞とセットにして、末尾に記す語がありますが、どれが正しいと思いますか。そして、その違いがわかりますか。

㋑一月一日　㋺元日　㋩元旦

小学校低学年の書写の教科書教材では㋑で記されています。一般的には㋩が多いのですが、「旦」が小学校で用いられないのは、この漢字は中学校で学習する漢字だからです。㋺の元(がん)は、「年のはじめ」を指し、㋑㋺は、まったく同じ意味で一月一日の一日中を指しています。ところが㋩の「元旦」の意味は、正確には異なりました。「旦」という漢字の「下の横棒」は、地平線を表し、そこから「日」つまり太陽が少し昇った様子を現しているのです。そこから「旦」は、「夜明け・早朝」の意となり、「元旦」は、本来は、「元日の朝」を指していました。ところが今日では、㋩も㋑㋺と同意で使われるようになりました。

（つづく）

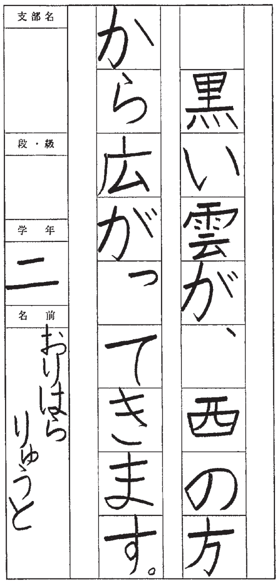
今月のホープ

小一　神作咲良（房州支部）

「は」の起筆・ハネから二画めへのつながり・結びの筆使いが自然で安定感のある美しい作品に仕上がりました。

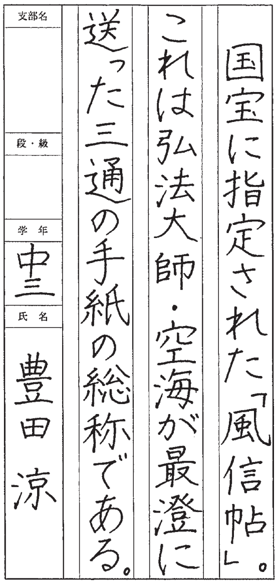
小六　石橋由梨奈（成東支部）

点画がしっかり安定しています。折れ、はね、はらいなどていねいで、構えも大きく広がりがあります。



小二　折原琉斗（竹の子支部）

濃い鉛筆でぐんぐんと書いて、力強く勢いがあります。字形も美しく、名前まで気力充実の立派な作品です。



中三　豊田　涼（龍水支部）

硬筆用紙をむだなく使い一点一画がゆるぎなく丁寧な書きぶりで正確な筆法で格調高い作品にエールを送ります。

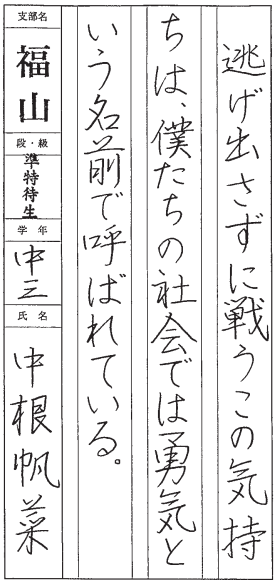
秋季昇段級試験最優秀作品

中三　岩瀬琴美（唯一支部）

ゆったりのびやかな筆使いで、ていねいな気持ちがゆき届いた作品です。名前もよく調和し見事です。

小六　髙梨安弥佳（恵泉支部）

点画がしっかり安定し、力強い筆運びで立派です。学年、氏名もていねいで、バランスよくまとまっています。



中三　中根帆菜（福山支部）

心を込めた行書で清新に歩む快作です。静かな線質の中に潤いと気品がにじみ出ていて格調高い作品です。

小六　山田琶音（森地書支部）

秋晴れのように澄んだ爽やかな作品でとても明るいです。鍛錬された線質と字形が光り輝き字配りも大変見事です。

2月号毛筆参考手本（予告）　2月7日締め切り分

幼・1年

ほ　ひろせゆり

おに　小一　やまだたろう

2年

ソリ　小二　みうらゆい

あられ　小二　たなかこはる

3年

豆まき　小三　白木ゆい

外国　小三　田上千里

4年

立春　小四　三浦洋子

雪原　小四　白井由紀

5年

寒風　小五　吉岡春来

活性化　小五　沖　咲良

6年

建築　小六　石山沙江

月面着陸　小六　向井千幸

中学

樹氷　中一　瀬川洋子

窓の景色　中二　福井由美

東大寺二月堂　中三　三村敬子

いでゆの宿　中三　木田まり

編集余録

○２０２２年は寅年です。「寅」は動くの意味で、春が来て草木が生ずる状態を表しています。また２０２２年は五黄の寅年ともいわれます。五黄の寅は36年に一回訪れ前回は１９８６年でした。五黄の寅年生まれの人は一般に運気が強いといわれています。皆さんは何年生まれでしょうか？素晴らしい一年になりますよう願っております。

○秋季昇段級試験の結果が皆さんのお手元に届いたと思います。審査長の辻元大雲先生より秋季昇段級試験の総評を頂きました。先生からのお言葉を今後の学習に生かしてください。

○合格証は再発行出来ませんので、大切に保管してください。

○秋季昇段級試験の最優秀作品・特待生合格者氏名を掲載いたしました。おめでとうございました。

○朝晩、寒くなって来ました。体調管理をしっかりとして風邪をひかないようにしてください。

（莱扇）